

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の2第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年3月29日

【事業年度】 第60期(自平成19年4月1日至平成20年3月31日)

【会社名】 株式会社アドバネクス

【英訳名】 Advanex Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役会長兼社長 加藤 雄一

【本店の所在の場所】 東京都北区田端六丁目1番1号

【電話番号】 03(3822)5860(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員業務管理本部長 大野 俊也

【最寄りの連絡場所】 東京都北区田端六丁目1番1号

【電話番号】 03(3822)5860(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員業務管理本部長 大野 俊也

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成20年6月26日に提出いたしました第60期（自平成19年4月1日至平成20年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第5 経理の状況

1 連結財務諸表等

(1) 連結財務諸表

注記事項

(退職給付関係)

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_を付して表示しております。

(訂正前)

第一部【企業情報】

第5【経理の状況】

1【連結財務諸表等】

(1)【連結財務諸表】

注記事項

(退職給付関係)

前連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)	当連結会計年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)																
	<p>(追加情報)</p> <p>複数事業主制度に関する事項</p> <p>当社および一部の子会社が加入している日本ばね工業厚生年金基金(総合設立型)の主な事項は次のとおりであります。</p> <p>(1) 制度全体の積立状況に関する事項(平成19年3月31日現在)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">年金資産の額</td> <td style="text-align: right;">58,129,505千円</td> </tr> <tr> <td>年金財政計算上の給付債務の額</td> <td style="text-align: right;">65,446,764千円</td> </tr> <tr> <td>差引額</td> <td style="text-align: right;">7,317,258千円</td> </tr> </table> <p>(2) 制度全体に占める当社および一部の子会社の掛金拠出割合(平成19年3月分)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">基金全体の掛金額</td> <td style="text-align: right;">305,337千円</td> </tr> <tr> <td>掛金拠出額(当社および一部子会社)</td> <td style="text-align: right;">14,988千円</td> </tr> <tr> <td>当社および一部子会社の拠出割合</td> <td style="text-align: right;">4.9%</td> </tr> </table> <p>(3) 補足説明に関する事項</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">未償却過去勤務債務残高</td> <td style="text-align: right;">13,464,456千円</td> </tr> <tr> <td>剰余金</td> <td style="text-align: right;">6,147,197千円</td> </tr> </table> <p>過去勤務債務の償却方法 期間20年の元利均等償却</p> <p>当該基金に関する事項は、上記2 退職給付債務に関する事項、3 退職給付費用に関する事項および4 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項には含まれておりません。</p>	年金資産の額	58,129,505千円	年金財政計算上の給付債務の額	65,446,764千円	差引額	7,317,258千円	基金全体の掛金額	305,337千円	掛金拠出額(当社および一部子会社)	14,988千円	当社および一部子会社の拠出割合	4.9%	未償却過去勤務債務残高	13,464,456千円	剰余金	6,147,197千円
年金資産の額	58,129,505千円																
年金財政計算上の給付債務の額	65,446,764千円																
差引額	7,317,258千円																
基金全体の掛金額	305,337千円																
掛金拠出額(当社および一部子会社)	14,988千円																
当社および一部子会社の拠出割合	4.9%																
未償却過去勤務債務残高	13,464,456千円																
剰余金	6,147,197千円																

(訂正後)

第一部【企業情報】

第5【経理の状況】

1【連結財務諸表等】

(1)【連結財務諸表】

注記事項

(退職給付関係)

前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)																
	<p>(追加情報)</p> <p>複数事業主制度に関する事項</p> <p>当社および一部の子会社が加入している日本ばね工業厚生年金基金(総合設立型)の主な事項は次のとおりであります。</p> <p>(1) 制度全体の積立状況に関する事項(平成19年3月31日現在)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">年金資産の額</td> <td style="text-align: right;">58,129,505千円</td> </tr> <tr> <td>年金財政計算上の給付債務の額</td> <td style="text-align: right;">65,446,764千円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">差引額</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">7,317,258千円</td> </tr> </table> <p>(2) 制度全体に占める当社および一部の子会社の掛金拠出割合(平成19年3月分)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">基金全体の掛金額</td> <td style="text-align: right;">305,337千円</td> </tr> <tr> <td>掛金拠出額(当社および一部子会社)</td> <td style="text-align: right;">14,988千円</td> </tr> <tr> <td>当社および一部子会社の拠出割合</td> <td style="text-align: right;">4.9%</td> </tr> </table> <p>(3) 補足説明に関する事項</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">未償却過去勤務債務残高</td> <td style="text-align: right;">13,464,456千円</td> </tr> <tr> <td>剰余金</td> <td style="text-align: right;">6,147,197千円</td> </tr> </table> <p>過去勤務債務の償却方法 期間20年の元利均等償却</p> <p>当該基金に関する事項は、上記2 退職給付債務に関する事項、3 退職給付費用に関する事項および4 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項には含まれておりません。</p>	年金資産の額	58,129,505千円	年金財政計算上の給付債務の額	65,446,764千円	差引額	7,317,258千円	基金全体の掛金額	305,337千円	掛金拠出額(当社および一部子会社)	14,988千円	当社および一部子会社の拠出割合	4.9%	未償却過去勤務債務残高	13,464,456千円	剰余金	6,147,197千円
年金資産の額	58,129,505千円																
年金財政計算上の給付債務の額	65,446,764千円																
差引額	7,317,258千円																
基金全体の掛金額	305,337千円																
掛金拠出額(当社および一部子会社)	14,988千円																
当社および一部子会社の拠出割合	4.9%																
未償却過去勤務債務残高	13,464,456千円																
剰余金	6,147,197千円																

前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)																						
	<p>当社の連結子会社である第一化成株式会社が加入している東日本プラスチック工業厚生年金基金(総合設立型)の主な事項は次のとおりであります。</p> <p>(1) 制度全体の積立状況に関する事項(平成19年3月31日現在)</p> <table border="0"> <tr> <td>年金資産の額</td> <td>103,003,268千円</td> </tr> <tr> <td>年金財政計算上の給付債務の額</td> <td>119,807,466千円</td> </tr> <tr> <td>差引額</td> <td>16,804,198千円</td> </tr> </table> <p>(2) 制度全体に占める第一化成株式会社の掛金拠出割合(平成18年4月から19年3月まで)</p> <table border="0"> <tr> <td>基金全体の掛金拠出額</td> <td>5,397,472千円</td> </tr> <tr> <td>掛金拠出額(第一化成株式会社)</td> <td>65,472千円</td> </tr> <tr> <td>第一化成株式会社の掛金拠出割合</td> <td>1.2%</td> </tr> </table> <p>(3) 補足説明に関する事項</p> <table border="0"> <tr> <td>未償却過去勤務債務残高</td> <td>12,312,378千円</td> </tr> <tr> <td>繰越不足金</td> <td>20,013,674千円</td> </tr> <tr> <td>資産評価調整控除額</td> <td>15,521,855千円</td> </tr> <tr> <td>過去勤務債務の償却方法</td> <td>元利均等償却</td> </tr> <tr> <td>過去勤務債務の残存償却年数</td> <td>18年</td> </tr> </table> <p>上記(1)の差引額の主な要因は財政計算上の未償却過去勤務債務残高及び繰越不足金であり、本制度における過去勤務債務の償却方法は期間20年の元利均等償却です。</p> <p>また、年金財政上の繰越不足金については、財政再計算に基づき必要に応じて掛金率を引き上げる等の方法によって処理されます。</p> <p>なお、財政運営上使用する資産は、数理的評価を採用しているため、財政決算上計上されている負債勘定の資産評価調整控除額は、上記(1)差引額から控除されています。</p> <p>当該基金に関する事項は、上記2 退職給付債務に関する事項、3 退職給付費用に関する事項及び4 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項には含まれておりません。</p>	年金資産の額	103,003,268千円	年金財政計算上の給付債務の額	119,807,466千円	差引額	16,804,198千円	基金全体の掛金拠出額	5,397,472千円	掛金拠出額(第一化成株式会社)	65,472千円	第一化成株式会社の掛金拠出割合	1.2%	未償却過去勤務債務残高	12,312,378千円	繰越不足金	20,013,674千円	資産評価調整控除額	15,521,855千円	過去勤務債務の償却方法	元利均等償却	過去勤務債務の残存償却年数	18年
年金資産の額	103,003,268千円																						
年金財政計算上の給付債務の額	119,807,466千円																						
差引額	16,804,198千円																						
基金全体の掛金拠出額	5,397,472千円																						
掛金拠出額(第一化成株式会社)	65,472千円																						
第一化成株式会社の掛金拠出割合	1.2%																						
未償却過去勤務債務残高	12,312,378千円																						
繰越不足金	20,013,674千円																						
資産評価調整控除額	15,521,855千円																						
過去勤務債務の償却方法	元利均等償却																						
過去勤務債務の残存償却年数	18年																						